

かたの



R4. 8. 29
形埜小学校
校長室だより

二学期スタート（始業式にて）

いよいよ二学期です。さっそく聞きます。この夏休み、「コツコツ、どんどん、とことん」は成功しましたか？
成功も失敗もひっくるめて、教室でしっかり担任の先生に自慢してくださいね。

二学期のスタートにあたり、みんなに紹介したい頑張りがあります。水泳学習のことです。予想以上に多くの子が泳げるようになって驚いています。6年生の泳げるようになったある子の日記を担任の先生が見せてくれました。

「◇◇さんの日記より」（前略）4時間目は、4人グループになって自分の動きを見て（iPadで）、よくない動きを教えてもらったり、友達の動きを見て気になるところを言ってあげたりしました。班長は◆ちゃんで、（中略）私は、◆ちゃんにけのびをする時のアドバイスと手の動きのアドバイスをもらいました。一人ずつ練習をするときに私は、◆ちゃんが教えてくれたアドバイスを元に泳ぐ練習をしました。そして、言われたとおり、手の動きをかえてみたらスピードが上がりました。もともと水泳が上手な○ちゃんの動きを見ていたら、姿勢がきれいでした。よく見たら、私より手の動きが速かったので、「なるほど」と思いました。

練習の最後に先生がどこまでいけるかチェックすると言いました。（中略）私は緊張しました。練習の時も、疲れて途中で止まってしまうことがあるからです。（中略）私の前の○ちゃんが50mを泳ぎ切りました。次は私。私はすごく緊張しました。でも、心の中では「私はいける！50m泳げる！」と思って泳ぎました。25mは泳げました。その後すぐ折り返して、また25m泳ぎます。その時、やっぱりすごく疲れていました。でも、諦めずに泳ぎ続けました。けど、まん中へんで足が疲れてきて苦しくなっていました。泳ぐ時に足に力が入りすぎてしまったからだと思います。でも、私は慌てず諦めず、力を抜いてゆっくりでいいから泳ぎ続けました。その結果、私は50m泳ぎきることができました。先生がすごく褒めてくれました。私はすごく嬉しかったです。授業が終わる時にも、先生が○ちゃんと私の進歩を褒めてくれました。私も○ちゃんはすごいなと思いました。○ちゃんは練習のたびにうまくなっていて、私も頑張ろうと思えたからです。～私は疲れてくると、途中手の動きが変わってしまうので、あとそれだけ直せばいいのかなと思います。最後の最後に50m泳げて本当によかったと思いました。今日は、グループで教え合って、50m泳げたので嬉しかったし、楽しかったです。昔みたいにまた、水泳（泳ぐこと）が好きになりました。

ノート2ページにわたって、びっしり書かれていました。この日のことは一生忘れないことでしょう。もうひとつ、5年生の二人の姿です。1学期の検定では、目標の25Mに届かず、悔しい思いを残したまま夏休みを迎えたこの二人、当然プール開放も練習しまくりです。必死の形相でひたすら、練習に向かっていました。「休憩入れないと、体力的に苦しいよ！」と声をかけても、うなずくものの、すぐ再開…。自由時間も練習コースで繰り返し泳ぐ。なぜか、「あと5Mで、届かず」ということが続きました。が、二人ともへろへろになりながらも決して諦めず、どうとう目標を達成しました。（他のみんなにもいっぱい頑張りどドラマがあったことと思いますが、たまたま先生が目にした頑張りを紹介しました。）

これらの姿から感じたのは、「諦めない姿はカッコいい」と言うことです。苦しくてボロボロになっても、まっすぐ前を見て向かっていく気迫はしびれるし、応援したくなります。神様もきっと「こんなに頑張っているんだから…」と、何か見えないパワーを送ってくれていたかもしれませんね。

2学期は、ロードレースや学芸会と、大きな「自分レベルアップ」の機会があります。それぞれの「とことん力」発揮の時です。苦手なことこそ「とことん力」で乗り越えましょう。「とことん力」発揮の呪文を授けます。

さあ、2学期スタートです。「とことん力」で新しい自分の力を見つけられることを願っています。

《とことん力発揮の呪文》

10,000回 だめで、へとへとになっても
10,001回めは、何かが起こるかも知れない♪
「ドリカム」の「何度でも」の歌詞より



表

⇒

裏



ネコギギバッチ